

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	平成28年12月2日(金)
招集の場所	議員控室
開会	午前9時30分
出席者	委員長 福田 淑子 副委員長 吉田 二郎 委員 柳田 政喜 委員 大橋 昭太郎 委員 橋本 四郎 委員 佐野 善弘 委員 平吹 俊雄
欠席者	なし
職務のため出席した者の職氏名	議事調査係長 高橋 美樹
協議事項	・研究テーマのまとめについて
その他	なし
閉会	午前11時25分

2号様式 協議の経過

	開会 午前9時30分
福田委員長	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>12月も2日目を迎えました。</p> <p>あと数十日しか今月も残っておりませんが、今年も元気に風邪をひかないように頑張っていきたいと思います。</p> <p>それでは、橋本委員は遅れてきます。</p> <p>忘れていたということで、これから来る予定になっています。</p> <p>委員、6人ですので、委員会は成立をいたしております。</p> <p>本日の教育、民生常任委員会の研究テーマについてのまとめとして、11月にもおこないましたが、今日10時からウイノナ市の皆さんが議場に見えられるということで、私達も出席してほしいという依頼がありました。</p> <p>それで、審議する時間が少ないですけれども、午後からは広域のほうの研修会に行かなければならないですし、かなり時間が限られております。</p> <p>皆さんにご相談ですが、お手元にお渡しいたしましたのは、11月9日の審議で出された意見のまとめとして作成しました。</p> <p>それで、12月会議に提出するのはかなり厳しいかなと思います。</p> <p>それで、次の会議に報告するという考え方と、来年の研究テーマを決める場合に、2月にはもう決めなくてはならない状況にあります。そういったことも考えながら、今日の会議を進めていきたいと思います。</p> <p>まず、11月9日に出されました意見の、これ以外のものを後ろの黒板に書きました。</p> <p>公共施設におけるごみの資源化及び減量化を率先して行うこと、という意見が皆さんから出ましたが、担当課に行ってお聞きしましたところ、ミスコピーなどの文書は束にしたものを指定回収業者が回収して、それは再利用のほうに再資源として回収されています。</p> <p>それから、保存文書につきましては、職員が直接、焼却炉に持って行って焼却をする、これは1年に1回ということです。</p> <p>それから、シュレッタ にかけた文書については、指定回収業者が回収をして焼却するという、町の文書は再生紙を利用しているということでした。</p> <p>文書の焼却につきましては、いくらぐらい焼却しているのかということをお聞きしましたところ、本庁舎13.7トン、南郷庁舎12トンという状況になっております。</p> <p>平成27年度におきましては、国本にお願いをしており、回収業者は国本でして、資源物と回収の手数料があります。</p> <p>再生利用できる物と手数料を相殺し、その差額を支払っているということでした。月にしまして、約1,102円が町の支出になっているという状況でありました。</p> <p>これより暫時休憩いたします。</p>

	<p>休憩 午前 9時35分 再開 午前10時30分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。 橋本委員が出席しております。 (「どうも遅くなりました」の声あり) 平吹委員につきましては、ウイノナ市の皆さんの関係で遅れます。 6人おりますので、委員会は成立いたしております。 11時半を目途に終わらせなければなりませんけれども、公共施設においてのごみの資源化及び減量化について、率先しておこなうということについては、先ほど皆さんにご説明したとおりなので、町としては資源化及び減量化に努めている実態を把握できたと思っておりますので、11月9日の審議で出された意見のまとめの中には、対応しているということで、入れないことにしたいと思います。 それで、今後の進め方ですが、初めにお話ししましたように、12月会議に出すには時間が無いということが現実的ですので、1月を目途に出すのであれば、1月会議を開いていただいて報告をしなければなりません。 また、これについて、もう少し色々調査が必要だということになれば、来年度も引き続きおこなって、9月会議までには提出したいと思っておりますけれども、皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。 はい、橋本委員。</p>
橋本委員	<p>そこを見て、びっくりしたんですけれども、本庁舎と南郷庁舎で25.7トンの文書を廃棄しているというんでしょ。 25、いや、26トンといたら、皆さん、どのくらいの量が分かると思うけれども、何千万枚、その紙をそういうふうには廃棄することがね。 例えば、国本が紙を扱っている製紙工場に持って行ってもいいようなものです。製紙工場では、製品の原料が要るから、そういう廃紙を使って経営が成り立つのであるわけだと思う。 受ける業者があるのに、何故、26トンも捨てているのか。 そのことを伺いたい。 それを考えたら、家庭で出るごみの量なんか、資源ごみの。 小牛田で出す全部の世帯の量よりも多い、紙の排出量なんだ。</p>
福田委員長	<p>休憩します。</p>
	<p>休憩 午前10時33分 再開 午前10時36分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。 町のごみの焼却及び資源化については、私が聞き取ってきたので、なお、担当課を呼んでお聞きしたほうが、より分かるかなと思っておりますので、その方向でよろしいですか。 (「はい」の声あり)</p>

	<p>それでは、その日にちも作らなければならないということで、そうすると、1月にまとめを出すのは難しいと思いますが。</p> <p>皆で何回も集まって1月に出さないと、2月の研究テーマが出てこないと思うので、その辺についての進め方を、皆さんから。</p> <p>とにかく、やれるとこまでやっていって、どうしても1月までに出せないという場合には、来年度も引き続きおこなうという方向でいいのか、それとも、1月に何回か、3回くらいは集まって、1月会議に出すようにするのか。</p> <p>その辺の考えや進め方を、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>はい、橋本委員。</p>
橋本委員	<p>あのね、委員長。</p> <p>大崎広域でやっている試験的な、色麻町の、あそこへ行って見て、具体的にどういう内容のことをしているのかを聞いてみるのもいいのではないですか。</p> <p>私は、今、国本が付き合っている製紙工場が何処なのか、どういう形の処理をしているのか、廃紙を使ったら経営的にどうなのか、そういうことも含めて、1月中に、国本に頼んで製紙工場を見学、あるいは勉強会、あるいは色麻町のほうに行って話しを聞いてもいいのではないですか。</p>
福田委員長	<p>今、橋本委員から意見が出されました。</p> <p>他にありませんか。</p> <p>はい、大橋委員。</p>
大橋委員	<p>やっぱり、せっかく取り組んだのですから、もっと細部にわたって、単純に一年で終わる必要は無いと思うし、橋本委員が言ったような形の部分というの、今までやってない事もありますので、引き続きやっていったらどうでしょうか。</p> <p>それが例えば、3月に新たな研究テーマを決める考え方もあるのですが、それはおそらく、9月までにはまとめられないということが大変だろうと感じられます。</p>
福田委員長	<p>他にありませんか。</p> <p>佐野委員、何かありませんか。</p>
佐野委員	<p>ごみ処理の問題は、美里町だけでは。</p> <p>広域の中でやっているんですけども、その中で広域の色々な考え方を、一回は行ったんですが、計画というようなことで目標とかあるようですので、その辺をもう一回聞いてから最終的なまとめをして。</p> <p>ちょうど今年、色麻とか加美の、家庭系ごみも終わりますので、その辺の内容も含めて。</p> <p>11月21日の河北新報に出てたんですが、仙台市も同じような問題が出ておまして、震災以降、家庭系のごみはかなり増えているということで、色々な面から削減なり、目標数値を決めた中でやっているようですので、</p>

	<p>美里町の実態が果たしてどのような、数字を見ますと、総枠のごみの量というのが、我々に示された一日 700 グラムということなのですが、それは色々な数字が入っているということで、仙台市は家庭から出すごみを減らそうとしているようですから、もっと美里町としての実態を調べた中で、どこをどのように絞って提言したらいいのかを、まとめていけばいいかと考えている次第です。</p> <p>以上でございます。</p>
福田委員長	柳田委員はどうお考えですか。
柳田委員	<p>この間の議会報告会の中でも出たのですが、その中でどうするかというのは、私も判断が難しいところですが、ただ最終的には、ごみを出すことについて、もう少し、皆できちんとした形でやっていかなければいけない。</p>
福田委員長	<p>平吹委員はどうですか。</p> <p>橋本委員、大橋委員、佐野委員、柳田委員からは、中途半端なまとめでなくて、もう少し引き続き、大崎広域で進めている加美町、色麻町の視察しながら、美里町が頼んでいる指定業者の国本さんにも行って、色々なお話を聞きながら、せっかく取り組んでいるので引き続き調査をしたほうがいいのではないかと意見が出ましたけれども。</p>
平吹委員	<p>やっぱり、町民全体に啓蒙していくことなので、もう少し、うわべではなくて、今言ったような形の中でやっていっていいのかなと、私もそう思います。</p>
福田委員長	副委員長。
吉田副委員長	<p>過去 2 回の常任委員会の研究テーマを私なりに、一年で完結というかまとめているものだと思ってきました。</p> <p>でも、今回は委員長のほうから、次年度もこのことについて取り組んでいいというか、取り組んでいくような方向付けで聞きました。</p> <p>確かに、なかなか、まとめのほうが出来ないので、もう少し、常任委員会として、さらに深く取り組むのもいいのではないかと思います。</p> <p>以上です。</p>
福田委員長	<p>皆様のご意見を伺ったところ、引き続き次年度も、しっかりした調査をして結果を出すために、引き続きおこなったほうがいいという意見でしたので、その方向で進めていきたいと思います。</p> <p>ご確認いたします。</p> <p>それでよろしいですか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>それでは、先ほどの担当課から話を聞くということで、日にちを決めたいと思います。</p> <p>休憩します。</p>
	<p>休憩 午前 10 時 50 分</p> <p>再開 午前 11 時 23 分</p>

<p>福田委員長</p>	<p>再開いたします。 委員、全員出席ですので、委員会は成立いたしております。 12月26日の常任委員会につきましては、まだ返事が来ておりませんので、決まり次第、皆さんにお知らせをいたします。 その場合、26日の午後2時から開催ということで、皆さんにご案内を差し上げたいと思いますので、よろしく願いいたします。 1月につきましては、1月17日午後2時から常任委員会を開きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。 今日の会議は、これで終わりにしたいと思います。 副委員長、あいさつをお願いいたします。</p>
<p>吉田副委員長</p>	<p>以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。 10時からウイノナ市の皆さんが来庁いたしまして、私達も良い光景を見させていただきました。 確か、前回も、9月のウイノナの時も、議場の前で歓迎をしました。 次回ですけれども、12月26日、日にちを忘れないでご出席いただきたいと思っております。 本日は、大変どうもご苦勞様でございました。</p>
	<p>閉会 午前11時25分</p>

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成28年12月2日

教育、民生常任委員会

委員長
